

**平成28年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 障害福祉 課

1. 基本情報

802

施設名	伊丹市立障害者福祉センター		
施設の設置目的	障がいをもつ市民の自立と社会参加の促進ならびに地域における交流の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 支え合いを基調とした地域福祉 主要施策： 当たり前の暮らしを支える障がい者福祉		
指定管理者の名称	社会福祉法人 伊丹市社会福祉協議会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市広畑3-1		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用人数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の利用者数	
	今年度の目標値	50,000	今年度の実績値 57,561

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H24	H25	H26	H27	H28(上期)	H28(通期)
	来館者数(人)	44,997	36,665	41,378	-	52,509	19,920	57,561
	貸し室稼働率(%)	48	41	42	-	43	43	40
	講座開催回数(回)	424	243	388	-	392	130	367
	講座参加者数(人)	4,488	2,712	3,374	-	4,375	1,798	4,218

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

〈単位:千円〉

	区分		平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	3カ年 平均	
指定管理者の収支	収入	使用料収入	-	0	0	0	
		事業収入	-	232	483	358	
		その他	-	0	0	0	
		指定管理委託料	-	74,867	62,818	68,843	
		①合計	0	75,099	63,301	46,133	
	支出	維持管理	光熱水費	-	10,225	10,808	10,517
			清掃等委託料	-	14,470	14,763	14,617
			土地建物賃料	-	907	907	907
			修繕料	-	730	2,419	1,575
		運営	人件費	-	32,184	25,835	29,010
			事業等経費	-	6,363	6,586	6,475
			その他	-	1,063	1,125	1,094
			指定管理納付金	-	0	0	0
		②合計	0	65,942	62,443	42,795	
	純収支 (①－②)		0	9,157	858	3,338	

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ 〈単位:千円〉		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	766	1,757	1,017	-	827	1,579
	(内、使用料収入)	666	653	611	-	447	1,008
	市の支出	67,064	64,989	245,891	767	75,513	66,254
	(内、指定管理委託料)	65,554	64,773	68,914	-	74,867	62,818
実質経費(歳出-歳入)		66,298	63,232	244,874	-	74,686	64,675

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	大規模改修後、市障害福祉課とともに、不具合等の改修を行うと共に、施設内外等清潔に保っている。	B	施設は常に清潔を保っている。設備保守は不具合等にも適切に対応している。修繕にあたっては市との連絡も密に取れている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	C		C	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	C	防火管理者を配置している。定期的に必要研修を実施している。	C	職員の異動により、必要な職員配置人数に不足が生じた。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A		A	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	避難訓練を毎年実施している。職員の緊急連絡網を作成している。	B	緊急連絡体制は整っており、避難訓練も実施されている。職員対象防犯対策訓練を実施するなど取組み状況は良好。
		避難訓練を実施しているか。	A		A	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	利用者ニーズを可能な限り取り入れ、新たな事業の展開も図っている。	B	積極的に事業内容の見直し、新事業の企画を行っており良好である。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		A	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	各障害者団体等との連携、支援を行っている。	B	基準どおりに実施できている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	広報誌やホームページに掲載するとともに、ブログやフェイスブックも必要に応じて活用している。	B	広報誌、HP、ブログ、SNS等を活用し、幅広く広報、啓発に努めている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に行っている。	B	適切に運営されていた。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価 B	概ね適正に施設の管理運営がなされている。各種交流・啓発事業、イベント、カルチャー教室等幅広く事業展開しており、参加者の方々から好評を得ている。
総合評価		
B		

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】 平成29年2月16日 ～ 平成29年3月12日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	施設利用者満足度調査アンケート集計表参照	
回答者数		
64		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
実際には廃棄処分されているにもかかわらず、備品台帳上廃棄手続がなされていないので改めること。	今年度中に備品台帳との突合を行い、整理する。
市に対し事前に連絡相談等無く人員体制の変更がなされたため、今後は必ず事前に連絡相談を行うこと。	今後人員体制の変更を希望する場合は必ず市担当課と事前協議を行う。